



こころみ

2010. 12. 15

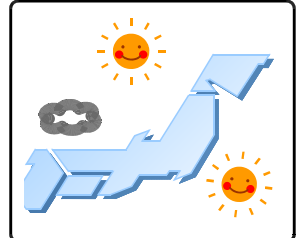
担当：教頭会

子どもが生き生きと参加する授業づくり 電子黒板の活用を通して

電子黒板って、どんなもの？

・ ・ テレビの天気予報図 ・ ・ **ビジュアル！ わかりやすい！**

お天気おねえさんが天気図に色ペンで「前線」を書きこんだりたり、雨マークや晴れマークを貼り付けたりしているでしょう。また、日本地図の一部の地方を拡大したりして、視覚的でとてもわかりやすいですね。あんなことができるのです。



電子黒板って、どんなことができるの？ (初級編) まずは **拡大提示**

① データ化した画像を提示し、その一部分をさらに拡大提示



中1美術鑑賞
「造形の冒険者になろう」

② 電子黒板とOBC（オーバーヘッド・カメラ）を直接接続 → 手元の作業を拡大提示



小4「折れ線グラフ」
学習シートに手書きしている過程を提示

③ 教材の提示・発問に応じた書き込み



小2国語教材文「スイミー」
本時の教材文を提示し読みの活動

④ 生徒のデジタル作品を提示 → 画面上での操作と書き込み



中1理科「大地の変化」
体験学習のまとめをPPTで制作
書き込みをしながら発表

情報活用能力の育成 ～新学習指導要領より～

小学校 慣れ親しめることから始め、キーボードなどによる文字の入力、電子ファイルの保存・整理インターネットの閲覧や電子メールの送受信などの基本的な操作を確実に身に付けさせるとともに、文章を編集したり図表を作成したりする学習活動、様々な方法で文字や画像などの情報を収集して調べたり比較したりする学習活動、情報手段を使って交流する学習活動、調べたものをまとめたり発表したりする学習活動など、情報手段を適切に活用できるようにするための学習活動を充実することが必要である。

中学校 小学校段階で身に付けた知識・技能を基に、技術・家庭科の技術分野において、情報手段の構成・仕組みなどを理解させ、それらを基にした情報モラル、情報技術の活用にかかわる能力・態度を身に付けさせるとともに、技術・家庭科だけではなく、国語科、社会科、数学科、理科、外国語科等の各教科における資料の収集・処理、観察・実験といった学習活動や言語活動、総合的な学習の時間などのそれぞれにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークを活用することが重要である。また、道徳においては情報モラルを取り扱うこととしている。


「普通の黒板」と「電子黒板」 どう使う？

流れを普通の黒板，ポイントは電子黒板

1時間のねらいを達成するために・・・それぞれを，効果的な手段として活用する

学習課題くまらまでの流れを普通の「黒板」に


小4 「グラフ」の書き方



その中で

電子黒板を、ツールの一つとして活用


その中で



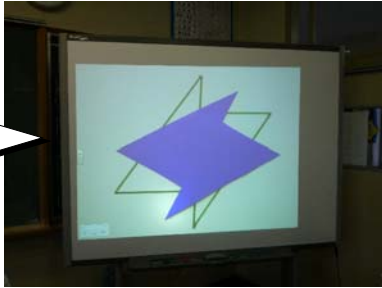
「電子黒板」内蔵のグラフを書くプロセスを提示

学習課題くまらまでの流れを普通の「黒板」に

中1 『対称な図形』



その中で



点対称な図形を動画で示し、具体的なイメージを提示

思考力・表現力の育成を期す電子黒板の活用例…最新・最適な情報提示

新聞の比較読みを通して、メディア・リテラシーの育成を目指した中3の国語。二社の記事の同時提示によって比較思考を促す。



景気の変動を表すグラフを提示。共通の資料を見て検討をしたり、複数の資料を提示することで思考を積み重ねる。(中3社会「国民の福祉と日本経済」)



新学習指導要領とICT教育

情報教育及びコンピュータ等や教材・教具の活用について

